

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	だるまさがれー
10-11	<b>だるまサブレー</b>



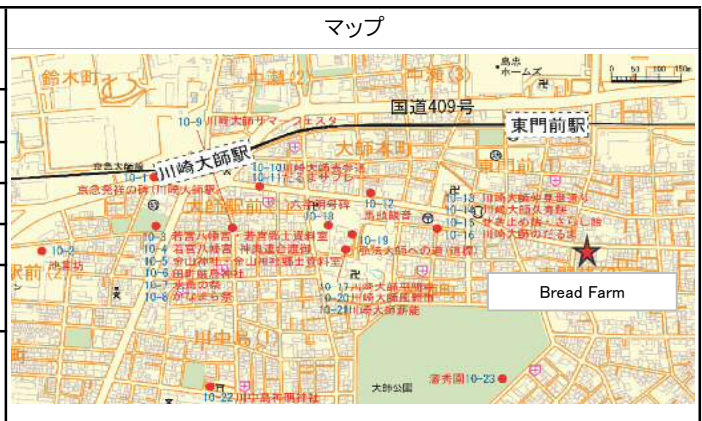
だるまサブレー (仙臺屋)

エリア	大師地区	シーズン	通年
	大師周辺	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input checked="" type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物

所在地	Bread Farm HATOYA: 川崎市東門前2-5-5 仙臺屋総本店: 中原区上平間1152
問い合わせ (下記参照)	
TEL	
FAX	
E-mail	
URL	
交通	



### 基礎情報

■だるまの形をしたサブレーで、川崎大師平間寺で護摩祈願の際にお茶請けとして出される人気のお菓子。大師の土産品として子供からお年寄りまで広く親しまれ、変わらない味で現在まで続いているロングセラー商品である。

### 由来・エピソード

■だるまサブレーは戦後、昭和29年(1954)に誰にでも愛される味で日持ちがする菓子として製造が開始された。その後、川崎大師平間寺より「厄除」使用のお墨付きを受け、「厄除けだるまサブレー」としても販売されている。川崎大師周辺では、だるまサブレーを扱う店は意外と少なく、主に川崎大師の表参道にある「Bread Farm HATOYA」、中原区上平間の「仙臺屋総本店」が知られている。

■だるまサブレーは、昭和52年(1977)全国菓子大博覧会第19回大会で無鑑査賞(仙臺屋総本店)を受賞している。また、「神奈川県指定銘菓」や「かわさき名産品2010」に認定されている。神奈川指定銘菓とは、第二次世界大戦中に伝統菓子の製造技術の伝承を目的に、県が「特種菓子」を指定し、特別に原料を配給したことに端を発するもので、昭和25年(1950)から概ね2年一度、県内の銘菓・良菓の中から特に優秀なものが厳選され、平成22年(2010)3月現在では147点が指定銘菓として登録されている。

### 補足・その他

■HATOYA: TEL:044-288-4023  
京急大師線・東門前駅下車徒歩5分、営業時間8:00~18:30・日曜・月曜・祝祭日休業  
■仙臺屋総本店: TEL:044-522-8888  
JR南武線鹿島田駅下車徒歩5分、営業時間9:00~17:00・火曜・日曜定休

### 関連シート

(10-10)川崎大師表参道  
(10-16)川崎大師のだるま  
(10-17)川崎大師平間寺